

## Oceans2012 国際学会発表

工学研究科 海洋システム工学分野 修士課程 2年  
内海聖恵・大森達也・塚原洋平

Oceans2012 国際学会が 2012 年 5 月 21 日から 24 日にかけて、韓国・麗水(ヨス)にて開催されました。この学会は海洋工学全般に関わる研究（海洋環境・海洋エネルギー・水中ロボット・音響海洋学などの幅広い分野）の研究者が一堂に会するものであり、33 カ国から約 600 人が参加しました。私たちはこの国際会議において、口頭発表の機会を頂くことができました。

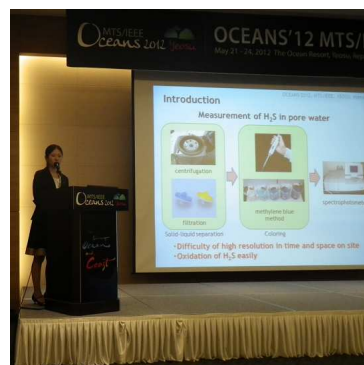
ヨスは韓国の南西沿岸部に位置しており、現在開催中の麗水万国博覧会の会場から車で 20 分程度のところが Oceans2012 学会会場でした。田舎ではありますが、美味しい海産物が食べられる街であるため、釜山などからも韓国人がよく足を運ぶようです。宿泊場所は



発表会場であるホテルのコンドミニウムで、初日は地元のスーパーで料理を買い込み、先生と学生一緒に夕食を取りました（左図はベランダからの写真）。

国際学会は皆初めてであったので、他の発表を聴くのも程々にして、直前まで発表練習を繰り返しました。

22 日の晩には、海洋環境等を研究している EAMEN<sup>2</sup>（東アジア海洋環境・エネルギーネットワーク）のメンバーを中心とした交流会が開かれました。この交流会はヨスで 2 番目に美味しいと言われているお店で開かれ（1 番目のお店はあまりに高価なため予算的に無理だったとのこと・・・）、料理は食べきれないほど大量に出てきました。どの料理も大変美味しく、翌日発表があるにもかかわらず、ご当地名物のマッコリも頂きました。交流会では他国の先生や学生とお酒を飲み交わしましたが、学ぶことに対する熱意や食欲さを常に持っており、私たちもその姿勢に学ぶべきところが多かったです。



23 日は昼食を済ませた後、いよいよ 3 人の口頭発表の時間が近づき、発表時間前は皆非常に緊張していました。発表本番時には、発表資料の最終版を再提出したにもかかわらず、会場スタッフのミスで最終版でないスライドが表示されるというハプニングがありました



が、皆何とか無事に発表を終えることが出来ました。

発表を終えると、待ちに待った **Gala Dinner**。バス十数台でヨス万博・韓国パビリオンの会場に移動し、ポスターセッション優秀賞の発表や伝統楽器を用いた演奏などを聴きながら、美味しくディナーを頂きました。（ただ、某 O 先生の肝臓を満た

すことができず、その後、コンドミニウムにて再度皆で晩酌。)



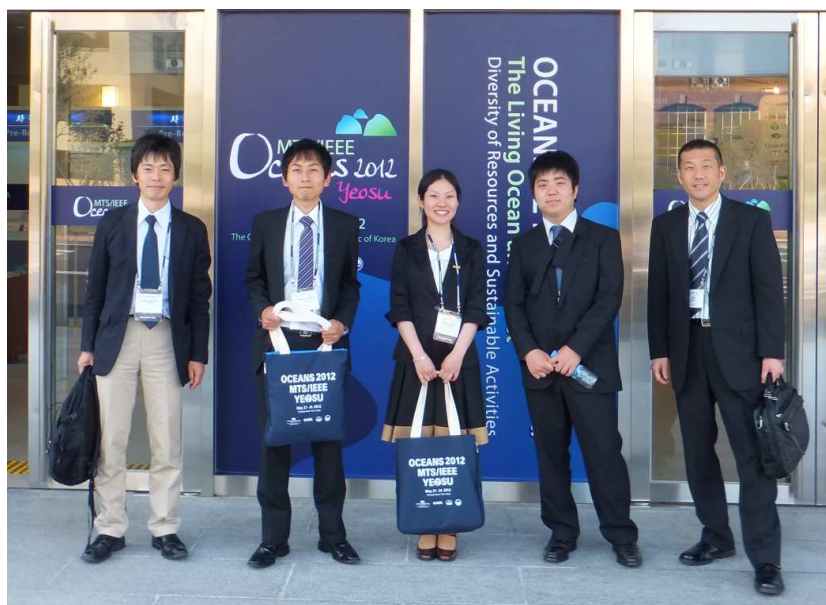
24日はKTX(韓国高速鉄道)で首都ソウルに移動し、韓国料理の中でも特に有名なサムギョプサル・サムゲタン・ソルロンタンなどの韓国料理を堪能しました。

その後、金浦国際空港から帰国の途に就きました。

今回の国際学会を通して、英語で口頭発表するという素晴らしい経験をさせて頂いたのに加え、普段なかなか経験できない他国の大学の先生・学生たちと会話をすることができ、非常に充実した日々でした。また、その後研究を進めていく上で大きな刺激になりました。

さらに、韓国において日本人が外国人とコミュニケーションをとるためには、現地の言語もしくは英語を使うしかないのですが、改めて意思疎通のツールとしての英語の重要性を感じました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださいました指導教官の大塚先生・中谷先生に深く感謝申し上げます。



開場前で記念撮影(左から中谷先生, 大森, 内海, 塚原, 大塚先生)